

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・勝又 写真 後藤
山行 NO. 1967	
日 時 2022年02月05日(土) 無風・晴れ	
山 域 箱根・矢倉岳(860m) 北西尾根・1～県境尾根	
コース 下土狩駅 6:07-谷峨駅発 7:02-北西尾根・1 取り付き 7:33-標高点 699m 8:44-三角点・鷹落場 9:09-清水越え 9:41-矢倉岳 9:59~10:29-県境尾根 11:25-三角点・大沢(633.5m)-ゴルフ場上-堰堤のある沢 12:41-東名・下谷集落-駿河小山駅 13:30	
標高差 上り 谷峨駅約113m~矢倉岳870m=約757m 下り 矢倉岳870m~駿河小山駅約250m=約620m	
藪漕度 県境尾根・三角点下標高約550mから堰堤のある沢まで酷い藪	
難易度 非常に困難 困難 レやや困難 普通_ やや易しい 易しい	
県境尾根、三角点までは快適だった	
参加者 後藤、井上、勝又、合谷=4名	

今回の山行は、足柄山地の矢倉岳(870m)。谷峨からのバリエーションルートから登る山行で、いつもと違い男性4名だけの山行になった。

下土狩駅6時7分の始発に乗り谷峨駅に6時52分着。始発の御殿場線に乗るのは久しぶりだ。

谷峨駅を7時に出発。畑地区を目指すのが、上部に採石場があるのか朝からダンプの通行が多い。東名の高架の下を抜け畑地区の左手にあるお茶畑の脇から登り始めるがいつもの通りいきなり急登。植林地の杉林を直登するが途中から作業のために作られた杣道をジグザグに登り楽になるが杉林の中は眺望はないうえに暗く面白味がない。途中、少し杉林が途切れるがすぐまた始まり、750m付近でやっと植林帯が終わり左右の視界が開け右手には富士山が木々の間から一望できホットする。



御殿場線



谷峨駅

三角点(819m)のある地点(鷹落場と表示があった)までいったん登り山伏平を目指す。山伏平の分岐から矢倉岳を目指すのが矢倉岳の直下は道が深く削られ歩きにくくおまけにやたら段差



自然林



鷹落場



鷹落場・三角点



清水越え

のある階段が続き山頂直前にしてかなり疲れてしまう。

9時55分、山頂着。予定よりも30分程早く着いてしまった。いつもの様に持参のお酒を飲みながらかなり早い昼食をとる。天気は快晴、ほぼ無風。眺望は最高で、少し雲がかかってはいるが富士山も良く見える。男ばかりなので食事も早く終わってしまい記念写真を撮って10時30分山頂を発ち駿河小山の駅を目指す。

山伏平の分岐から県境の稜線にそって駿河小山に向かって下る。途中、足柄峠に向かう道との分岐に向かう上側の道を行かなければならないところを下側の道を行ってしまい上側に進路変更し分岐から尾根沿いのとても歩き易い道を下るが、633mの三角点のある場所で地図上から県境のラインはあるが登山道のラインがなくなってしまう。そこからしばらく下るとクマザサの藪に入ってしまう道がはっきりしなくなってしまうなんとか下れそうなルートを探しながら進むが、細い尾根沿いの急で危険な場所を何とか無事に下の沢のところまで下ることができホットとした。どうやら途中で本来、下のゴルフ場のふちに沿って伸びている尾根沿いにいかなければならない所を、左側の尾根に向かってしまったようだ。

何とか最近にない危険なルートを下り一般道に何とかでることができ駿河小山の駅に向かい1時43分駅に着くが次の電車まで1時間近く時間があるため駅前の観光案内所を兼ねた町の駅にてビールで買い時間をつぶし帰路に就く。いつもの様に下土狩駅横の満貫で反省会を兼ねたお疲れ

様会を開き解散となる。本日も一日、お疲れさまでした。(以上・勝又)



矢倉岳山頂

その他の記述（後藤）

1. 矢倉岳北面バリエーションは、1. 北西尾根・1（標高点699m経由）、2. 北西尾根・2（鳥手山経由）、3. 北尾根（鳥手山トンネル北、旧R246の取り付きから鳥手山経由）と三本開拓した。今回は、北西尾根・1ルート。
2. 当初、地図読みで合谷にトップを託す。が、谷峨駅から左右どちらに向かうか分からない。前日、私が登山ルートの詳細地図は送ってある。ただ、全体の概念が頭に入っていないので、この結果になる。山は、案外「下道」が難しい。
3. 標高点699mまで人工林。ビアの空き缶が多かった。
4. 静岡・神奈川県境尾根は、調べてみたら、1986年8月発刊の「静岡県勤労者山岳連盟・結成20周年記念誌」の「県境の山を歩く」で、1985年7月28日、私が歩いていた。しかし、当時は、「・・・県境上に道は無かった。背丈以上のカヤトと雑木で酷い藪が続いている。それでも我慢して前進するも道はなかった・・・」の記録があった。結局、一人だったので、少し手前の「足柄古道」に戻り、駿河小山に下った。いずれにしても、ここはリベンジで再調査したい。
5. 駿河小山駅前の「町の駅」は、2020年1月4日、初山行時、寄った。当時は「ポップ駅前屋」だった。店主の奥様？の山本さんが話好き。若いころは、盛んに北アルプスに上ったとい

う。また、例の小山町周辺の「キレイな絵看板」の製作者・故岩田潤泉（いわた・たにいずみ）さんは、国語の教師で恩師だったという。いろいろ、あったようだが、すごくイイ方だったとのこと。

6. 帰路、御殿場駅で電車待ち時間が長かったので、井上クンのビアをやってしまった。（´艸`）



矢倉岳



雲がイイ



県境尾根・三角点「大沢」



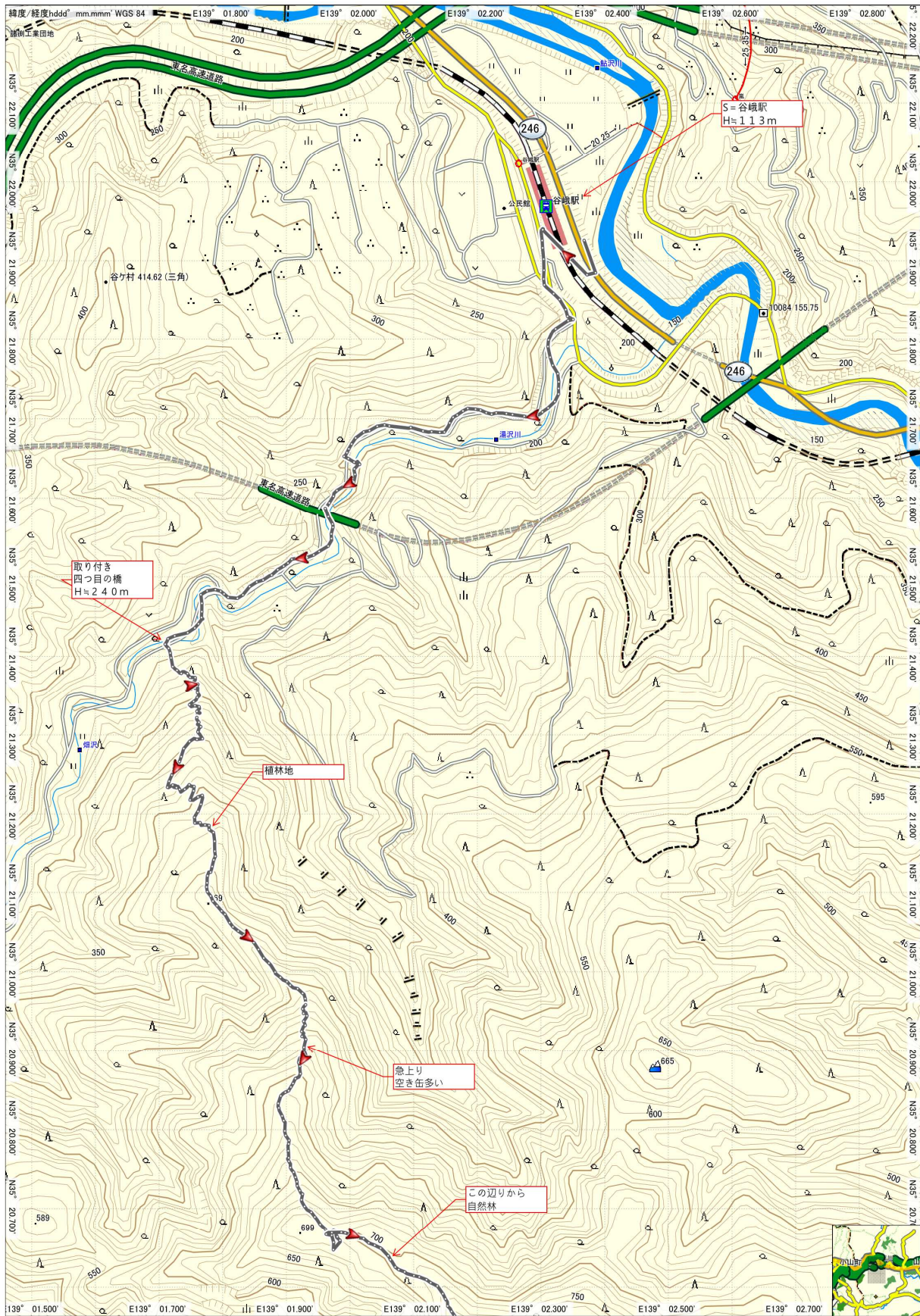
尾根末端

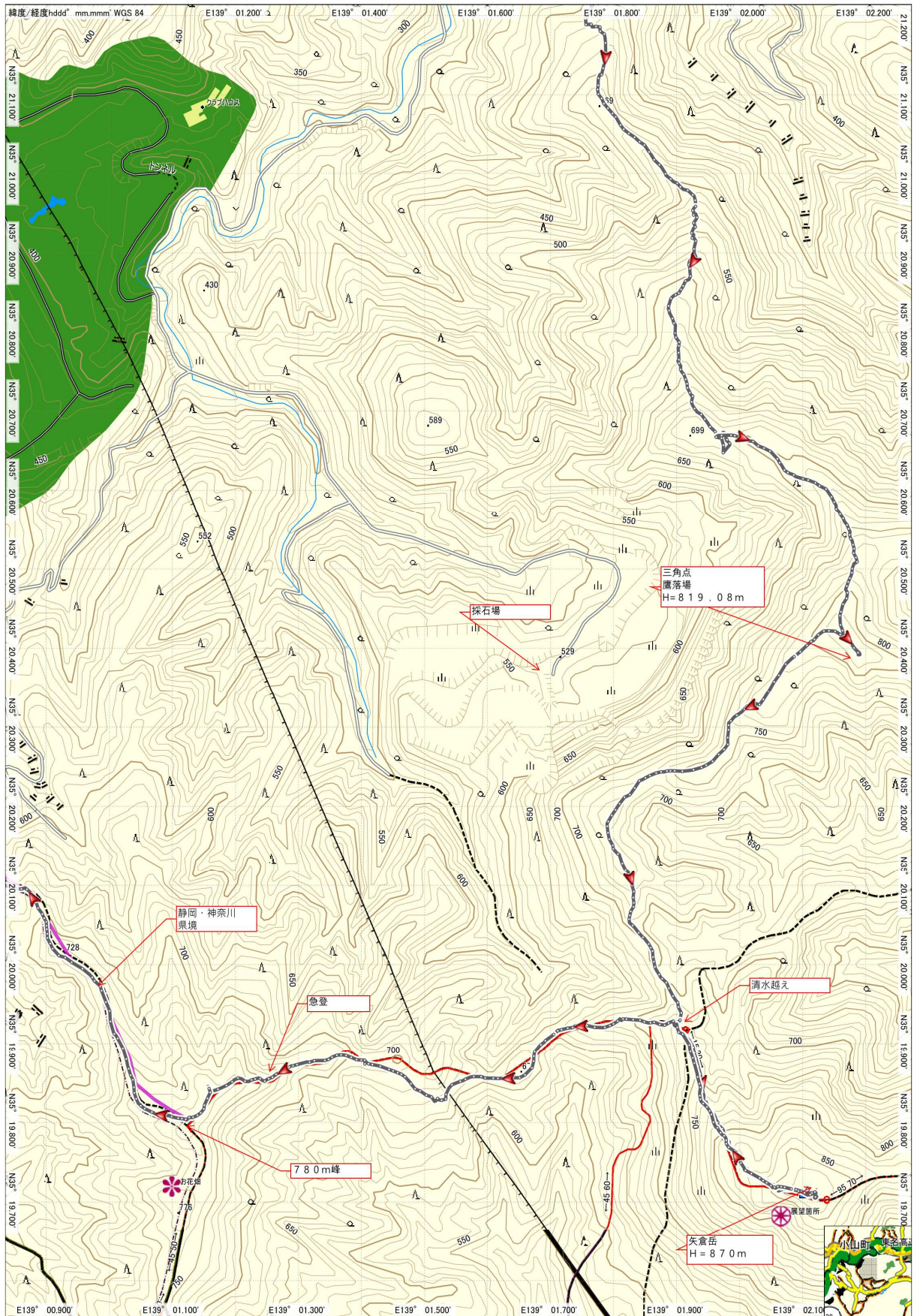


駿河小山駅前「町の駅」右・山本さん



故岩田さんの遺作

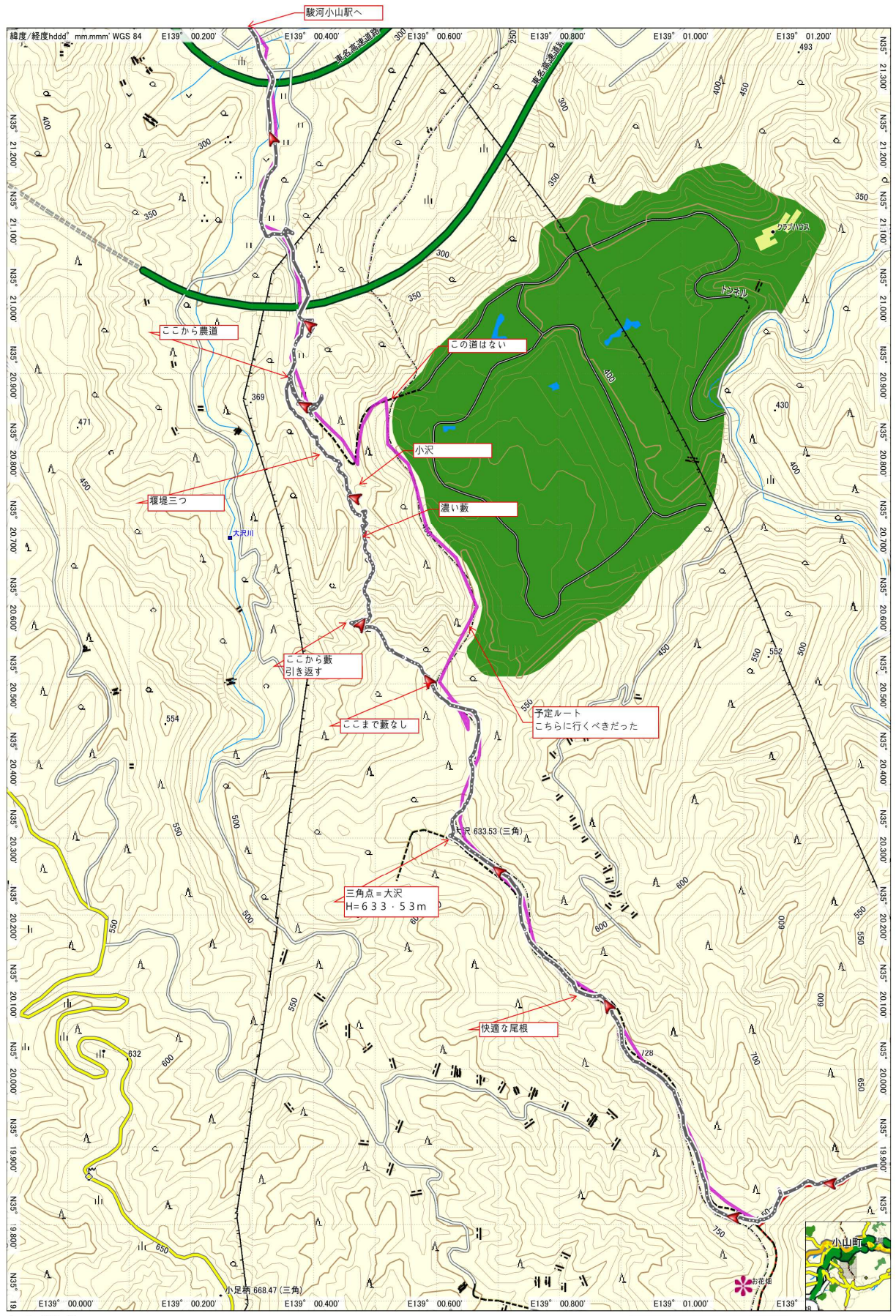




Japan Topo 10M Plus V3
 DeLorme/MapInfo Co., Ltd. 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2022/02/06 6:35:42

GARMIN



Japan Topo 10M Plus V3
Garmin/DeLorme Co., Ltd. 2014
Garmin Corporation 1985-2014

2022/02/06 6:35:42

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN